

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ことばの教室そらまめキッズ2nd				公表日	令和8年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動に合わせて部屋を変えています。支援室と教材庫の分けをしています。	再構造化を行い、より適切なスペースへしていきたいと思っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動内容や状態に合わせて、スタッフ人数を調整しています。チームとしての時間の使い方を各スタッフと考えられています。	過剰配置になることもあるので、子どもの自立の為に、支援中も状況把握を怠らず、都度臨機応変に対応していきたいと考えております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		都度構造化をしています。静の活動、動の活動で部屋を分けられています。視覚支援等を使用しています。	物がやや多かったり、通路が滑りやすいため、今後の構造化は都度必要だと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動によって環境配置を変えています。定期的に構造化を行い、環境を整えている安全面を考慮しています。1日の終わりに片付けを徹底していま	棚の上に物を置きっぱなしの時間が、稀に見られるため、棚の上に視覚提示を行いました。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		ステップに合わせた場所で支援を提供しています。個室が必要な子には個室を準備しています。	今後も状況に応じて個室等使い分けていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		終礼の際、話し合いを毎回行っています。	話し合いは良くできているが、やりっぱなしの支援も稀にあるため、それらを減らせるよう取り組んでいきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年事業所評価後にスタッフで検討会を行い意見の周知を行っています。	今後もスタッフ全体で検討会を開いていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		終礼などでの情報共有をしています。	いつでも意見を言えるようにはしているが、もっと1on1ミーティングを充実していきたいと考えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	見学研修など外部から支援をみってもらう頻度は多いと感じます。	外部評価が少ないので今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修機会は多い。法人全体で受講者の条件等を統一しています。	今後も学びの場の確保を続けていきたい。E ランニング等の研修アプリを導入できないか検討していきたいと考えています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		リーダーを中心に公表しています。	リーダーは作成に携わっているが、スタッフは詳細まで把握していないスタッフも多いので周知を徹底していきたいと思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		検査等を用いて数値的にもアセスメントしています。定期的に保護者の意見を聞き計画書に取り入れています。	スタッフによってはアセスメントツールを使いこなせていないスタッフもいるため、今後活用方法の統一を図っていきたいと思います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当制ではないため、どのスタッフも一緒に考えることができます。	登録人数増加に伴い、1人当たりのかかるケア会議の時間の確保が難しくなってきたため、検討していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書に沿った、狙い目的での支援を提供しています。	5領域全てに特化できているわけではないので、やや偏りがでているので5領域の意識を高めていきたいと思っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		MASや感覚プロファイル、検査等を用いています。	日々のアセスメント習慣はついていますが、分析シートの活用等が少ないため、活用を促していきます。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		全ての項目を記載し、支援できるよう統一を図っています。	地域支援がやや希薄になることが多く、評価シートでの情報提供に頼っている部分が多い。今後ITツール等も活用しながら情報共有に努めていきたいと思っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		リーダーを中心に組み立てつつ、チームで話し合いを行っています。	大型イベント等になるとやや担当リーダーへの負担が大きくなりがちなので、チーム組織の強化を図ってきたいと思っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		狙いは同じでも活動内容を変えながら行っています。	今後も固定化しないよう都度話し合いを進めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		日々のスケジュールも個に合わせて組み合わせることができています。個別・集団それぞれの目標設定があります。	今後も家庭と連携し必要な支援の提供ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		視覚化するなど、全員が把握できる工夫も行っています。朝礼等で都度情報共有を行っています。	今後も細かく分担し、チームで連携して動いていけるよう継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日行っています。密にコミュニケーションを取ることができています。	今後もチーム力を維持・向上に努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録内容も統一を図るなどし、共有を図っています。	今後も支援の改善等に記録を用いていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に見直しできています。	半年見直しが多く必要に応じてがやや少ない。状況に応じた変更等を積極的に行っていきたいと思っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		活動の中に必要に応じて4つの基本活動が入るように計画をしています。	利用児によっては偏りがみられることがある為、バランスをみて支援していきたいと思っています。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		計画的に入れるなど工夫しています。	積極的に取り入れているので、今後も継続して取り入れていきたいと思っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当が参加することがあります。	管理職が参加する事が多い。入職年数に関わらず、状況に応じて参加できるように進めていきたいと思っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		紹介状の作成やリハビリについて連絡を取り合えることがあります。	医療機関との連携が少ないので、今後の課題として考えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じた会議や電話での連絡を取り合う事が多いです。評価シートを毎月提出しています。	連絡を取り合っている学校とそうではない学校が生じているため、差をなくして行きたいと思っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		一緒に移行支援シートを作成する事が多いです。幼保小連絡会と一緒に参加させて貰っています。	全ての対象児童で連携が図れているわけではないので、今後検討し図れるよう進めていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて情報提供書を提出しています。	今後も情報共有・提供等行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修案内を必ずもらっています。	研修参加はできていないので、積極的にセンターと連携を図ってきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		併用利用しているおさんは機会を確保できていると思います。	事業所としても関りはないため、今後法人として検討していきたいです。

	33	(自立支援) 協議会等積極的に参加しているか。	○		管理者が参加しています。	管理者が参加しており、スタッフによっては分かっていないスタッフもいた為、周知の徹底を行っていききたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		必ず支援後にフィードバックの時間を設けています。事業所内相談を定期的実施しています。	今後も定期的に事業所内相談を実施し、保護者が相談しやすい環境作りを努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		上半期・下半期に分け参加機会を多く設けています。	仕事を抱えている親御さんには参加しにくい時間帯なので、今後開催日時の検討をしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时、契約時に説明を行っています。また変更時、都度説明を行うようにしています。	初回到説明する事が多く、忘れてしまわれる方もいるので、いつでも手にとれる棚に掲示しているが、周知できていない方が多いため検討していきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に事業所内相談を実施しています。いつでも連絡ができるようIT機器を導入しています。	今後も意向をしっかりと把握したうえで、最善の支援の提供を行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明を毎回対面で行っています。	半年に1回なので、保護者様も忘れてしまいがちなので、都度事業所内相談での聞き取りを徹底していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談等を設けている。また家庭への取り組みに必要な教材等を作りお渡ししています。	初心を忘れず寄り添った支援ができるよう今後もすすめていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		イベントや待ち時間、ペアトレの時間を使い交流を図っています。	兄弟児の交流が全くないため、今後法人全体で検討していききたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合、すぐにスタッフへ周知し対応策を検討しています。	苦情の件数が少ないため、拾えていない意見もあるかもしれない。もっと言いやすい環境や取り組みを検討していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		さまざまなSNSを使い発信を続けています。	行事等がほとんどないため、年間計画がありません。今後必要になることもあり得るため、検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		カギ付きの棚で管理しています。	今後も取り扱いには留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		PECS®や視覚支援等を用いているマスクを必要に応じて外すなどの対応を行っています。	今後も必要に応じて対応を進めていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		講演会や無料体験会を実施し、知って頂く、見て頂く機会を設けています。	近隣住民の方と一緒に避難訓練等も今後検討していきたくと考えております。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		いつでも手に取れる場所にファイル保管してあります。
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		防災グッズ等を日々備えてあります。	地震・火災の訓練は出来ているが、水害や原発訓練が実施できていないので、訓練内容の見直しを含め検討していきたくと思います。
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に必要情報を書面にて記載確認おこなっています。	服薬・てんかん等の確認は行っているが、予防接種は積極的に確認していません。
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供機会は少ないが、全利用児保護者からの確認は行っています。	医師とのやり取りが今までないので、今後必要に応じ適宜対応していきたくと思います。
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年4回訓練実施しています。	今後も継続して行っています。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		訓練後は報告書の掲示やLINEにて周知を行なっています。	周知を行っているが、途中利用開始の方で分からない方もいらっしゃるの で、掲示期間の見直しを行いました。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全事業所統一ツールを使用し、法人全体で取り組んでいます。 リスクマップを作成し掲示しています。 研修会を実施しています。	インシデント・アクシデント報告は多いが、ヒヤリハット報告が少ないため、今後研修を実施予定です。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回研修を実施。定期的に委員会も実施しています。	今後も早期発見につなげられるよう、取り組んでいきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事業所内で検討後、委員会で審議しています。 対面にて保護者と3要件を確認しながら説明を行っています。	今後も委員会や保護者協力の下、適切な支援をすすめていけるよう取り組んでいきます。